

2018年度「鬼首塾」開催のご案内

主催 プロジェクト鳴子CSA

協力 鬼首農地開発農業振興組合

地域で育まれてきた伝統野菜「鬼首菜^{ずなっこ}」をもう一度。

鬼首地区では、長い間、自家採種しながら「鬼首菜(ずなっこ)」を栽培してきました。その独特の辛みと旨みのある美味しさが愛され、冬から春にかけての食卓を彩ってきました。

しかし、今では栽培する家は少なくなり、このままでは消えてしまうかもしれません。

鬼首の大切な地域資源を守るために、今年度の「鬼首塾」では、『鬼首菜の復活と活用』をテーマに据えて3回シリーズで取組んでいきます。

その第1回の塾を下記の通り開催いたします。鬼首菜について知りたい、食べてみたい、作ってみたい等々、関心のある方はどうぞご参加ください。

第1回 鬼首塾

塾のスタートにあたり、宮城県農業短期大学名誉教授 高橋信典先生をお招きし、「鬼首菜の特性と可能性」(仮題)についてご講演いただきます。

鬼首菜の特徴である辛みや旨みはどうして生まれるのか? 鬼首菜の謎を分かりやすく、科学的に解き明かしていただきます。

また、塾では「鬼首菜の復活と活用」を目指して鬼首菜隊(ずなっこたい)を結成し、その中に栽培班、調理・加工班、調査班を設けて具体的に活動をしていく予定です。今回はその活動内容のご紹介をします。

●日時 2018年10月31日(水) 午後1時30分～3時30分

●場所 鬼首地区公民館 1階 研修室 宮城県大崎市鳴子温泉鬼首字原 43-1 TEL0229-86-2206

●プログラム 1 講演「鬼首菜の特性と可能性」(仮題)

講師 高橋信典(たかはし しんすけ)先生 宮城県農業短期大学名誉教授

プロフィール: 園芸利用学、品質の特性が専門。「小瀬菜・鬼首菜・仙台芭蕉菜・仙台雪菜の品質と収穫時期との関係」「播種期の収穫期が鬼首菜の生育と品質に及ぼす影響」など、鬼首菜に関する論文も多数発表。宮城県出身。趣味は山登り。

2 ^{ずなっこ}鬼首菜隊の紹介 栽培班、調理・加工班、調査班

●参加費無料/申込み不要/定員 30名

▶お問い合わせ先

プロジェクト鳴子CSA

事務局 NPO法人 鳴子の米プロジェクト

〒989-6832 宮城県大崎市鳴子温泉字星沼 77-84

TEL/0229-29-9436 FAX/0229-29-9437

E-mail/komepro181@yahoo.co.jp

※「プロジェクト鳴子CSA」は、地域と農家がつながり支え合う「鳴子型CSA(地域支援型農業)」を推進する組織として立ち上げました。トヨタ財団からの助成を受けながら、米や野菜・加工品を予約購入してもらう仕組みをつくるとともに、買い物弱者といわれる地域の高齢者に、農産物を配達する活動も行います。そして、この事業が若者の新しい仕事として雇用創出につながることを目指します。